

於第一研究室分室1

「金子大栄著『真宗学序説』の英訳研究」

会

十一月十八日（木）午後二時半

於第三會議室

十一月九日（木）午後二時半

本学助教受 方 第五会議室

一般研究

共同研究会 木場班

第四回 十二月三日(金)午後四時十分

於第一小會議室

「中国東北地域研究の現状」

東北師範大學教授 呂元明氏

第五回十一月八日(水)午後五時

「海外布教」と「語教育」

一
江
外
文
學
〔
日
語
卷
〕

第六回 十二月二十二日(水)午後五時

於第一小會議室

「小栗栖香頂と清末仏教」

東京大學大學院 陳繼東氏

～仏教学会～

◇研究発表例会

十月十二日（火）午後四時十分～

於 尋源講堂

「[中論仏護註]における「取」(upa, dana)について」
博士後期課程第三学年 廣濱哲生

「アビダルマにおける nimitta について
—Nikaya の用例に関連して—」
博士後期課程第三学年 箕浦暁雄

「源信の初期の伝記について」
～『法華驗記』源信僧都伝を中心につい～

本学助教授 ロバート・F・ローズ
◇修士論文中間発表会

十一月一日（火）午後四時十分～
於 尋源講堂

一九九九年度修士論文提出予定者のうち
十名の発表があり、活発な質疑応答がな
された。

◇講演会

十一月九日（火）午後四時十分～

於 二三〇一教室

「仏学科卒業生はいま」

—作家になつた小野不由美さんの場合—

作家 小野不由美氏

学生・教員併せて二五〇名以上の参加者
があり、大盛況であった。

～社会学会～

◇社会学公開講演会

十二月二十一日（水）午後二時半～
於 多目的ホール

十一月十四日（火）午後四時十分～
於 尋源講堂

「現代仏教学の危機」
フランス国立高等研究院教授・

国際日本文化研究センター客員教授
ジャン・ノエール・ロベール氏

「社会心理学からみた『いじめ』」
神戸大学文学部教授 蜂屋良彦氏

「一九九九年度大谷大学英文学会」
英文学会

十一月八日（水）午後四時十分～
於 一一一〇教室

「研究発表」

「姉妹の崩壊—『ハワーズ・エンド』から
『恋する女たち』へ—」
講演 松宮園子

「能」の魅力—実演をはじめて—」
西洋哲学・倫理学会

京都大学助教授 長谷正當氏

「中国文学会」

モニカ・ベーテ氏

◇中国文学会

十一月九日（火）午後四時十分～

「エッセイとしての哲学」
於 談話室

- 〔天狗考〕 東久美
 〔中国の俗楽における柳〕 飯塚由起
 〔北京図書館藏『説文解字讀』に於ける
 体例〕 稲垣淳央
 〔日中武器考～弓について～〕 高森康輔
 〔茹志鶴論〕 塚本英乃
 〔海南島の經濟の一側面〕
 〔旅行業を中心にして〕 丸川奈緒子
 〔金鳥考〕 服部里美
 〔日中の食事作法の比較〕
 〔主に箸作法について〕 佐藤久理子
 〔中国のディズニーランドと一人っ子政策〕 堀江渚
 〔中國人の心理の一側面〕 佐藤弥生
 〔西王母伝説〕 田中裕子
 〔中国拳法考〕 千葉智史
 〔唐代の詩における朱と紅〕 阪本さつき
 〔掃晴娘考〕 藤原由紀
 〔中国真珠考〕 神戸紗江子
 〔古代中国の化粧〕 山本裕子
 〔日本における中国古代兵法の受容〕 吉田容朗
 〔李白の詩における釣り〕 大久保圭一郎
 〔唐詩にみる茶〕 岡本香奈

(参加者) 河内教授、若槻教授、佐藤助教授、李助教授、渡部講師、浦山講師、特別研修員、大学院生、学部生など六十名

◇中国文学公開講演会

十二月十九日(日)午後二時

於二一〇一教室

「中国文学と仏教」本学教授 河内昭円

◇國際文化學科

◇國際文化學科秋季講演会

十月二十七日(水)午後一時

於多目的ホール

「中国の詩と人生」

・真宗総合研究所客員研究員 藤寅氏
 中国社会科学院古典文学研究所研究员
 通訳 本学専任講師 渡部洋
 一年生多数が聴講して盛会であった。